

たちばな たかし

# 立花 隆

\* 昭和15年5月28日

長崎市生まれ



## ○ 略歴

- 昭和39年 東京大学卒業後「文藝春秋」入社 「週刊文春」担当となる（昭41退社）  
（24歳）
- 昭和43年 「素手でのし上がった男たち」を立花隆の名前で発表 言論活動開始  
（28歳）
- 昭和49年 龐大な資料を駆使し実像に迫った「特集 田中角栄研究」で一躍脚光を浴びる  
（34歳） 同作で、第36回文藝春秋読者賞受賞
- 昭和58年 徹底した取材と卓抜な分析力により幅広いニュージャーナリズムを確立  
（43歳） した文筆活動が評価され、菊池寛賞を受賞  
「田中角栄と私の9年間」で第45回 文藝春秋読者賞 受賞
- 平成4年 小石川に知の要塞『猫ビル』完成  
（52歳）
- 平成7年 東京大学先端科学技術研究センター客員教授  
（55歳）
- 以降 東京大学、立教大学客員教授等を歴任し、  
現在、東京大学大学院情報学環特任教授（2007年～）、  
日本科学未来館総合監修委員（2012年～）

## ○ 主な受賞歴

- |       |              |                  |
|-------|--------------|------------------|
| 昭和49年 | 文藝春秋読者賞      | 「田中角栄研究」         |
| 昭和50年 | 新評賞          | 「田中角栄研究 その金脈と人脈」 |
| 昭和54年 | 講談社ノンフィクション賞 | 「日本共産党の研究」       |
| 昭和58年 | 第31回 菊池寛賞    |                  |
| 昭和58年 | 文藝春秋社読者賞     | 「田中角栄と私の9年間」     |
| 昭和62年 | 毎日出版文化賞      | 「脳死」             |
| 平成3年  | 新潮学芸賞        | 「精神と物質」          |
| 平成5年  | 大川出版賞        | 「電脳進化論」          |
| 平成10年 | 第1回 司馬遼太郎賞   |                  |
| 平成10年 | 第49回 放送文化賞   |                  |

## ○ その他の代表作

中核 VS 革マル(昭50)、アメリカ性革命報告(昭54)、農協(昭55)

脳死(昭61)、サル学の現在(平03)、宇宙よ(平04)